

平成二十四年度 春季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「春」

期間 平成二十四年二月一日～平成二十四年四月末

投句数 一、八七五句

特選三句

天

まだ少し梅には早き東慶寺

神奈川県座間市 高倉桂子

地

鎌倉の余寒に虚子を偲びをり

東京都大田区 坂本民子

人

鎌倉も北鎌倉も花吹雪

大阪府泉大津市 多田羅初美

入選句

一般の部

切通し抜け極楽寺春の風

東京都板橋区

池上良裕

庭一つ空一枚の余寒かな

神奈川県川崎市麻生区

市東晶子

禅庭の寂けさに散るさくらかな

神奈川県横浜市金沢区

井出佳子

方丈の枯山水や風光る

千葉県市川市

白井秀明

涅槃雪別れを惜しむ寺の庭

神奈川県鎌倉市

大井章

梅一輪つつの静けさ瑞泉寺

神奈川県横浜市保土ヶ谷区

桑本螢生

小さき駅梅見の客のどつと降り

静岡県静岡市清水区

剣持せつ子

立春の日差大路にゆきわたり

神奈川県横浜市戸塚区

高橋央尚

早春の愁ひただよふ波の音

神奈川県逗子市

佐藤信子

大仏のやさしきお顔春の空

群馬県前橋市

田中玲子

大仏をやさしく包む朧月

千葉県流山市

角田 勇

五山みな晴れりし花の虚子忌かな

長野県長野市

寺島きよ子

春めくやこだま重なる寺の鐘

神奈川県横浜市青葉区

寺橋 正光

花吹雪幼馴染も老いにけり

群馬県高崎市

中島 弘子

古都五山めぐる窓辺につるし雛

神奈川県藤沢市

藤澤 陽子

鯉の影動きくつきり薄氷

千葉県船橋市

前原 慶輔

鎌倉やいくつ曲りて花の寺

神奈川県横浜市青葉区

山下省三

尼寺や一段づつの落椿

東京都大田区

山田 隆紀

青春の真つ只中の桜かな

東京都板橋区

渡辺 未来

浪音も春となりけり相模灘

東京都板橋区

渡辺 里佳

(順不同)

入選句

子どもの部

うぐいすのなきごえきいてさんぽする

東京都文京区

高田英那

鎌倉の大仏てらす春の月

東京都大田区

佐藤龍成

大仏の上でひらひら舞う桜

東京都大田区

保田瑠美

ふきのとうぐんぐんのびる空目指し

神奈川県横浜市保土ヶ谷区

石原そよか

はるがきてだいぶつさまもうれしそう

神奈川県横浜市戸塚区

大塚玲央夏

うぐいすのなきごえきけるずいせんじ

神奈川県鎌倉市

榊原 慧

春の風乗ってとんびはやってくる

山梨県甲府市

飯田春萌

かまくらはさくらいつぱいきれいだな

山梨県南アルプス市

中村優希

あおいそらうめがきらきらとうけいじ

静岡県富士宮市

三浦かの

はるのはなこうとくいんに咲きほこる

静岡県静岡市駿河区

天野理沙

(順不同)